

平成30年度 下水道技術海外実証事業の評価項目および配点

		配点	評価の段階					
			A	A'	B	B'	C	
実現性	工程計画	10	工程計画が極めて適切である(10点)	工程計画が妥当である(7点)	工程計画が概ね妥当である(5点)	工程計画の適切さにやや欠ける(3点)	実証事業が年度内に終了しない可能性があり、工程計画が不適切である(0点)	
	実施体制	10	実証技術の普及展開に向け、実証試験等が実施できる体制が整えられており、且つ担当者が海外での豊富な実績を有している(10点)	実証技術の普及展開に向け、実証試験等が実施できるような体制が整えられており、且つ担当者が海外での実績を有している(7点)	実証試験等が実施できるような体制が整えられており、且つ担当者が海外での実績を有している(5点)	実証試験等が実施できるような体制が整えられており、担当者の海外での実績が乏しい(3点)	実証試験等を実施するための体制が整っていない(0点)	
	課題・ニーズの把握	20	現地の下水道に係る課題・ニーズの整理が優れている(20点)	現地の下水道に係る課題・ニーズが整理されている(15点)	現地の下水道に係る課題・ニーズが概ね整理されている(10点)	現地の下水道に係る課題・ニーズの整理がやや不十分である(5点)	現地の下水道に係る課題・ニーズの整理が不十分である(0点)	
	小計	40						
有効性	技術の確認	実証項目及び目標	15	実証試験の目標が明確であり、実証項目が適切に設定されている(15点)		実証試験の目標および実証項目が設定されている(8点)		実証試験の目標および実証項目の設定が不明確である(0点)
		モニタリング	15	経過観察による評価が適切に行われるよう、モニタリングの時期・回数・場所が適切に設けられている(15点)		経過観察による評価が適切に行われるよう、モニタリングの時期・回数・場所が最低限度、設けられている(8点)		実証試験のモニタリングが不十分であるため、経過観察による評価が不可能(0点)
	課題・ニーズとの適合性	20	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が極めて高い(20点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が高い(15点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズが適合している(10点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性がやや低い(5点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が低い(0点)	
	小計	50						
普及可能性	ビジネス戦略	20	現地の課題に適合したビジネス戦略が極めて明確であり、現地での普及展開が大いに期待できる(20点)	現地の課題に適合したビジネス戦略が明確であり、現地での普及展開が期待できる(15点)	現地の課題に適合したビジネス戦略が概ね明確であり、現地での普及展開の可能性がある(10点)	現地の課題に適合したビジネス戦略がやや不明確であり、現地での普及展開の可能性がやや低い(5点)	現地の課題に適合したビジネス戦略がやや不明確であり、現地での普及展開の可能性が低い(0点)	
	事業効果	20	現地に提案技術の導入実績がなく、実証事業を通じて同技術への理解が深まり、今後の普及に大いに期待できる(20点)	現地に提案技術の導入実績があるが、実証事業を行うことで、同技術の信頼性が高まり、今後の普及が大いに期待できる(15点)	現地に提案技術の導入実績があるが、実証事業を行うことで、同技術の信頼性が高まり、今後の普及に期待できる(10点)	現地に提案技術の導入実績があり、今後の普及に対して本実証事業の効果が殆ど見込まれない(5点)	現地に提案技術の導入実績があり、今後の普及に対して本実証事業の効果が見込まれない(0点)	
	自主活動	積極性	10	自ら極めて積極的に現地政府や市民へのPRを行うことにしている(10点)	自ら積極的に現地政府や市民へのPRを行うことにしている(7点)	自主的に行う現地政府や市民へのPRが限定されている(5点)	自主的に行う現地政府や市民へのPRの積極性が乏しい(3点)	自主的に行う現地政府や市民へのPRに積極性が見受けられない(0点)
		実効性	10	極めて現実的かつ効果的な自主活動になっている(10点)	現実的かつ効果的な自主活動になっている(7点)	概ね現実的かつ効果的な自主活動になっている(5点)	自主活動の現実性・効果がやや不明確(3点)	自主活動の現実性・効果が不明確(0点)
	小計	60						
合計		150						